

令和 7 年 12 月 26 日 (2025 年)

厚生労働省 様

ABCC が実施したとされる原子爆弾投下後の残留放射線等に関する記録調査報告書

1.趣旨・目的

資料調査目的：ABCC（原爆傷害調査委員会）が広島及び長崎において実施したとされる原子爆弾投下後の残留放射線と放射性降下物の研究結果（分布図を含む）について、その存在を示唆する資料が発見されており、また、令和 6 年 5 月 30 日に長崎県・市より、長崎周辺地域で降雨があったことを示す可能性のある記録の調査を要望されていることから、これらの資料（BC-50,BC-51）の保有状況等の調査を行う。

2.業務の内容

- (1) ABCC が実施した広島及び長崎における残留放射線の調査結果であり、それぞれの地域で採取した土壌、樹皮、木材、漆喰、植生等のサンプルのラジオオートグラフを撮影し、降雨の場所をできるだけ正確に把握するため「降下物」地域の範囲を図示した地図を作成したとされており、英国国立公文書館(The National Archives United Kingdom)における、これに関する調査結果の保有状況を調査し、リスト化をした上で厚生労働省に報告する。
- (2) インターネット公開サイトを利用し、英国国立公文書館が所蔵する資料の中から調査を実施する。また、現地でしか確認できない所蔵文書もあるため、現地調査も行う。目的とする資料の存在を確認できた場合には、その写しを入手する。

3.調査期間 令和 7 年 7 月 14 日から令和 7 年 12 月 26 日まで

4.調査場所 英国国立公文書館(The National Archives United Kingdom)

住所：Kew, Richmond,TW9 4DU

英国国立公文書館のインターネットサイト <https://www.nationalarchives.gov.uk/>

5.調査方法及び手順、状況報告

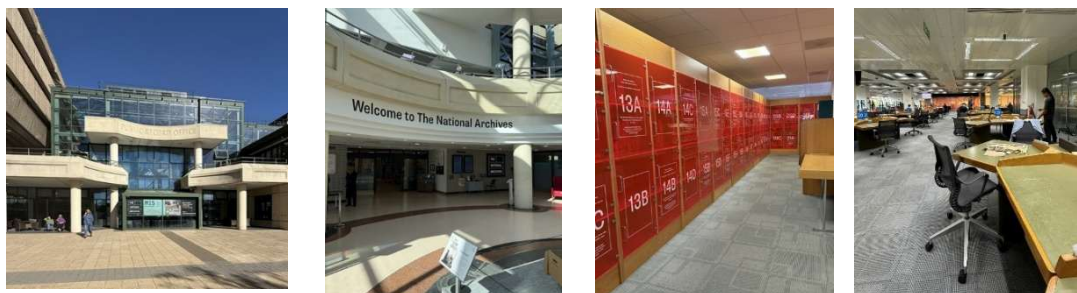
- 1) 英国国立公文書館の所蔵書籍から、インターネット検索にてあらかじめ該当書籍や該当情報に関連する書籍の調査をし、検索文書の候補リストを作成した。
- 2) 英国国立公文書館の所蔵書籍はインターネット公開を行っておらず、現地での閲覧のみが可能であるため、あらかじめ英国国立公文書館に連絡して書籍を取り寄せる手続きを行った上で、英国国立公文書館に出張調査を実施した。

調査日時：令和 7 年 9 月 24 日から 29 日

調査場所：英国国立公文書館

住所：Kew, Richmond, TW9 4DU

写真は左から、正面入口、入口ホール、資料収納ロッカー、資料閲覧デスク。



- ・ Hiroshima, Nagasaki, Atomic Bomb, Black Rain, BC-50, BC-51 などといったキーワードにて、個別ならびに複数で検索。

- 3) 関連する資料の写真を撮影した。取得したデータを持ち帰り読み込み、再度検索の必要があるものを検索しまとめた。

【調査結果】

ABCC(原爆傷害調査委員会)が広島及び長崎において実施したとされる原子爆弾投下後の残留放射線と放射性降下物の研究結果（分布図を含む。BC-50,BC-51）の保有状況調査

現地調査において、キーワード検索に該当した資料はあったが、それらを確認したところ、調査対象資料ではなかった。